

## わりきれ、わりきれない

わり算をして、あまりがあるとき、「わりきれない」といいます。

わり算をして、あまりがないとき、「わりきれ」といいます。

わりきれるか、わりきれないかを考えるには、かけ算九九を使います。

例題

つぎ  
次のわり算について、わりきれるものには○を、わりきれないものには×を書きましょう。

①  $25 \div 5$     ②  $48 \div 7$

③  $54 \div 9$     ④  $34 \div 4$

解答

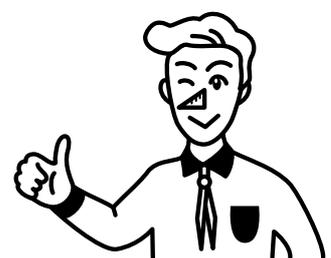
① ○  $5 \times 5 = 25$  なので、わりきれます。

② ×  $7 \times 6 = 42$ ,  $7 \times 7 = 49$  なので、わりきれません。

③ ○  $9 \times 6 = 54$  なので、わりきれます。

④ ×  $4 \times 8 = 32$ ,  $4 \times 9 = 36$  なので、わりきれません。

わりきれかどうかは、かけ算の答えと、わられる数をくらべれば、わかるね。



## あまりの大きさ

あまりの大きさは、わる数より小さくなるようにします。

例題

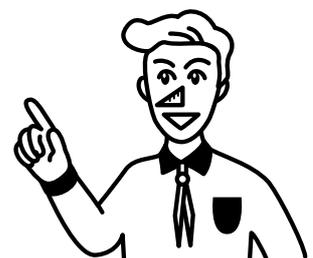
つぎ  
次のわり算について、合っているものには○，まちがっているものには正しい答えを書きましょう。

- ①  $13 \div 4 = 2$ あまり5      ②  $22 \div 5 = 4$ あまり2  
③  $55 \div 9 = 6$ あまり1      ④  $44 \div 7 = 7$ あまり5

解答

- ① 3あまり1      あまりが4より大きいので、まちがいです。  
 $4 \times 3 = 12$ ,  $13 - 12 = 1$       なので、  
3あまり1になります。
- ② ○       $4 \times 5 = 20$ ,  $22 - 20 = 2$       で、  
あまりも5より小さいので、合っています。
- ③ ○       $6 \times 9 = 54$ ,  $55 - 54 = 1$       で、  
あまりも9より小さいので、合っています。
- ④ 6あまり2       $7 \times 7 = 49$       なので、44には5たりません。  
 $7 \times 6 = 42$ ,  $44 - 42 = 2$       なので、  
6あまり2になります。

たとえば、わる数が5なら、あまりは  
1, 2, 3, 4のどれかになるんだよ。





つぎ  
次のわり算について、わりきれるものには○を、わりきれないものには×を書きましょう。

①  $24 \div 8$

②  $31 \div 6$

③  $40 \div 7$

④  $18 \div 4$

⑤  $36 \div 9$

⑥  $15 \div 3$

⑦  $41 \div 8$

⑧  $53 \div 7$

⑨  $14 \div 2$

⑩  $30 \div 5$

⑪  $22 \div 3$

⑫  $17 \div 9$

⑬  $43 \div 5$

⑭  $56 \div 7$

⑮  $12 \div 8$

⑯  $63 \div 9$



つぎ  
次のわり算について、合っているものには○を、まちがっているものには×を書きましょう。

①  $57 \div 7 = 7$ あまり5

②  $36 \div 5 = 5$ あまり6

③  $21 \div 9 = 2$ あまり3

④  $38 \div 6 = 5$ あまり8

⑤  $35 \div 8 = 4$ あまり1

⑥  $70 \div 9 = 7$ あまり7

⑦  $22 \div 4 = 4$ あまり6

⑧  $31 \div 5 = 6$ あまり1

⑨  $13 \div 9 = 1$ あまり3

⑩  $25 \div 6 = 3$ あまり1



<sup>つぎ</sup> 次のわり算について、わりきれるものには○を、わりきれないものには×を書きましょう。

①  $51 \div 7$

②  $25 \div 5$

③  $24 \div 3$

④  $18 \div 9$

⑤  $46 \div 8$

⑥  $49 \div 6$

⑦  $27 \div 4$

⑧  $10 \div 2$

⑨  $28 \div 7$

⑩  $61 \div 8$

⑪  $43 \div 6$

⑫  $42 \div 7$

⑬  $55 \div 9$

⑭  $40 \div 5$

⑮  $9 \div 3$

⑯  $44 \div 9$



つぎ  
次のわり算について、合っているものには○を、まちがっているものには×を書きましょう。

①  $42 \div 8 = 5$ あまり2

②  $29 \div 9 = 3$ あまり2

③  $15 \div 2 = 6$ あまり3

④  $44 \div 6 = 7$ あまり2

⑤  $47 \div 7 = 6$ あまり5

⑥  $59 \div 8 = 6$ あまり3

⑦  $37 \div 6 = 6$ あまり1

⑧  $60 \div 9 = 6$ あまり4

⑨  $26 \div 3 = 8$ あまり2

⑩  $33 \div 4 = 7$ あまり5



1 次のわり算<sup>つぎ</sup>について、わりきれるものには○を、わりきれないものには×を書きましょう。

①  $8 \div 3$

②  $56 \div 8$

③  $57 \div 9$

④  $14 \div 4$

⑤  $60 \div 8$

⑥  $21 \div 7$

⑦  $20 \div 5$

⑧  $49 \div 9$

2 次のわり算について、合っているものには○を、まちがっているものには×を書きましょう。

①  $63 \div 8 = 7$ あまり6

②  $19 \div 3 = 6$ あまり2

③  $40 \div 6 = 5$ あまり10

④  $62 \div 7 = 8$ あまり6

⑤  $18 \div 8 = 2$ あまり2

⑥  $26 \div 9 = 2$ あまり7

⑦  $37 \div 7 = 7$ あまり2

⑧  $41 \div 5 = 8$ あまり1



1 次のわり算<sup>つぎ</sup>について、わりきれるものには○を、わりきれないものには×を書きましょう。

①  $40 \div 8$

②  $32 \div 9$

③  $24 \div 6$

④  $16 \div 7$

⑤  $23 \div 5$

⑥  $45 \div 8$

⑦  $18 \div 2$

⑧  $21 \div 3$

2 次のわり算について、合っているものには○を、まちがっているものには×を書きましょう。

①  $14 \div 9 = 1$ あまり5

②  $20 \div 6 = 2$ あまり8

③  $25 \div 8 = 4$ あまり1

④  $39 \div 5 = 7$ あまり3

⑤  $34 \div 6 = 6$ あまり2

⑥  $62 \div 8 = 7$ あまり6

⑦  $11 \div 3 = 3$ あまり2

⑧  $50 \div 9 = 6$ あまり5



- 1 ある数のあめを、4人で同じ数ずつ分けることにしました。  
分け終わった後に、のこっているあめの数として考えられる数を、<sup>すべて</sup>全て書き  
ましょう。

--

- 2 41このあめを7人のこどもに、1人4こずつ分けました。

① 何このあめが、のこっているでしょう。

--

② のこっていたあめを<sup>ぜんいん</sup>全員に、同じ数ずつ分けました。  
何このあめが、のこっているでしょう。

--

- 3 49このあめを8こずつ、ふくろに入れました。

何ふくろできて、あめは何こあまるでしょう。わり算の式と答えを書きま  
しょう。

式	
答え	



1 45このりんごを6人に同じ数ずつ分けました。

1人分は何こになり、りんごは何こあまるでしょう。わり算の式と答えを書きましょう。

式	
答え	

2 78まいのカードを9まいずつ、ふくろに入れました。

何ふくろできて、カードは何まいあまるでしょう。わり算の式と答えを書きましょう。

式	
答え	

3 ある数のみかんを、8人で同じ数ずつ分けることにしました。

分けた後に、のこっているみかんの数として考えられる数を、<sup>すべ</sup>全て書きましよう。

--

1 61まいのカードを9人のこどもに、1人5まいずつ分けました。

① 何まいのカードが、のこっているでしょう。

--

② のこっていたカードを全員に、同じ数ずつ分けました。  
何まいのカードが、のこっているでしょう。

--

2 46このあめを6こずつ、ふくろに入れました。

何ふくろできて、あめは何こあまるでしょう。わり算の式と答えを書きましょう。

式	
答え	

3 35このりんごを4人に同じ数ずつ分けました。

1人分は何こになり、りんごは何こあまるでしょう。わり算の式と答えを書きましょう。

式	
答え	